

令和8年度(2026)年間指導計画【総合・上川探究】3学年

【基本情報】

教 科	総合	学 年	3
科 目	上川探究	単位数	3
科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら、地域を取り巻く環境への関心を高め、自ら課題を設定し、見通しをもって観察、実験、調査を行い、科学的に探究する資質・能力を育てるとともに、地域を取り巻く環境を理解し、科学的に探究しようとする態度を養う。		
評価の観点	a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
評価の規準	観察、実験、調査などを通して地域の事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 地域の事物・現象に関する観察、実験、調査の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付けている。	地域の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験、調査を行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実に基づいて科学的に判断したことを、言語活動を通じて表現する。	地域の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。
評価の方法	・学習記録(ノート・プリント) ・口頭発表・発言 ・単元テスト、定期考査	・学習記録(ノート・プリント) ・口頭発表・発言 ・単元テスト、定期考査	・学習活動への取組状況 ・提出物等の内容 ・学習記録(ノート・プリント) ・発言・行動
授業について	(1) 学習記録はフィールドノートにまとめる。 (2) 授業資料やプリントなどは紛失しないように保管する。 (3) 「調査・実験・観察・実習」→「結果をまとめる(文章・プレゼンテーション)」→「発表」の流れを意識して授業を行う (4) 実験・実習・観察・調査を行う際は安全に十分注意し指示に従った操作をする。 (5) 室内の授業(～生物化学教室、3A教室、調理実習室で行います) ・講義　・各種実験、実習、作業　・調理実習 (6) 屋外の授業(～農地、山、河川など) ・実習(農作業、各種野外調査実習) (7) 活動報告会での発表(～視聴覚教室など) ・レポート作り　・プレゼンテーション作成　・報告会での発表		

「指導項目」

単元A 探究活動の深化 「調べる」～タブレット、図書などの利用方法
「調査・実験」～基本的な実験、観察、調査方法の検討
「結果をまとめる」～プレゼンテーション利用と発表

単元B 地域研究の発展 「基本的な自然の知識・観察・実験・実習」～生物、地質、気象の基本
「基本的なフィールドワーク」～山、河川、校地、農地のフィールドワーク
「課題研究」～課題設定から探究活動
「研究のまとめ」～発表会の準備と発表

単元C 生物生産 「生物生産に関する知識」～作物および栽培の知識
「作業・実践」～土起こし、植え付け、施肥、草取り、水管理
「食品加工」～調理、食品製造

【年間指導計画】

月	単元	指導目標（学習のねらい）	観点別評価		
			a	b	c
4	・授業の進め方 単元A 探究活動の基本 A1. 「調べる」 A2. 「調査・実験」 A3. 「結果をまとめる・発表」	○基本的な観察、実験、調査を行うとともに科学的に探究、表現する方法を習得する。 ・情報検索、科学情報の収集の方法を習得する。（タブレット PC の使用など） ・基本実験及び調査を通し科学的探究の手法を習得する。 ・発表原稿、プレゼンテーションの作成および科目内発表を通して知的な表現方法を習得する。	○	○	○
5	単元B 基本的な自然研究 B1. 「基本的な自然の知識・観察・実験・実習」 単元C 生物生産 C1. 「生物生産に関する知識」 C2. 「作業・実践」	○校舎周辺の環境を利用し基本的な自然環境に関する知識と調査・実験の方法を習得する。 ・校地の環境整備や農地作業を通して基本的な自然環境に関する知識・観察・実験方法を習得する。 ○生物生産の基本知識と科学的意義を考える。 ・栽培する作物の検討と基礎知識 ・時期に応じた作業を行いその意義を理解する。（土起こし、植え付け、施肥など）	○ ○	○ ○	○
6	B1. 「基本的な自然の知識・観察・実験・実習」 B2. 「基本的なフィールドワーク」 C2. 「作業・実践」	・校地の環境整備や農地作業を通して基本的な自然環境に関する知識・観察・実験方法を習得する。 ・フィールドワークを通して基本的な自然環境に関する知識・観察・実験・調査方法を習得する。 （校地外の市街地・山・河川など） ・時期に応じた作業を行いその意義を理解する。（施肥など）	○ ○	○ ○	○
7	（6月に同じ）	（6月に同じ）	○	○	○
8	（6月に同じ）	（6月に同じ）	○	○	○
9	B3. 「課題研究」 C2. 「作業・実践」 C3. 「食品加工」	・これまでの活動のまとめ及び、課題を設定し観察・実験を通して課題を解決する。 ・時期に応じた作業を行いその意義を理解する。（収穫など） ・収穫した作物を利用し調理、加工を行う。	○ ○	○	○
10	（9月に同じ）	（9月に同じ）	○	○	○
11	（9月に同じ）	（9月に同じ）	○	○	○
12	B3. 「研究のまとめ」	・課題研究の成果を発表会で発表する。そのためのまとめと準備を行う。		○	○
1	B3. 「研究のまとめ」	・課題研究、発表会の反省		○	○
2	（家庭学習期間）				
3	（家庭学習期間）				